

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○		○		○	○			○		○		○	

## 企業の概要

企業・団体名	株式会社デジタルクリエイション	本社所在地	大阪府
業種	情報通信業	総従業員数	7名
事業概要	WEB制作及び広告物制作・ECストア運営		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則
テレワーク担当部署	経営管理部
テレワーク対象者	エンジニア/事務
実施者数	7名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 2018年の起業当初から導入している。
- 障がい者雇用・子育てママ雇用に強化する経営方針を策定したため、障がい者雇用・子育てママ人材が働きやすい環境を検討したところテレワークの導入に至った。

## テレワークの概要・特徴

- 弊社規定のテレワーク環境を準備できる方、面談においてリモートワーク問題が無いと判断したスタッフに対しては週4日~5日のリモートワークを実施している。
- 現状コロナ化ということもあり、全スタッフがテレワークで業務を実施。
- 弊社はスタートアップ企業になるため潤沢な資金があるわけではないが、資金が無いなら無いのでできる範囲で取り組んでいる。
- 主にGoogle Workspaceとマネーフォワードの活用、就業規則改定、情報セキュリティルール策定。プロジェクト管理システムを活用して各スタッフ業務の見える化を実現した。
- 導入費用が少額でもテレワークを実施、業績も向上させていることからスタートアップ企業のリモートワーク導入のモデルケースとなっている。
- また、リモートワークを導入することで障害者雇用率70%を超えている。この点から新しい働き方につなげていける事例となるのでは無いか。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- スタッフ9名のうち、6名が障害者雇用である。
- 精神疾患や発達障害を持つ人材が中心ではあるが、身体障害をもスタッフも在籍している。エンジニアとしては高い技術力を保持しながらも労働環境面で、居場所がなくなった方々に対して機会を提供できることは、素晴らしい成果だと感じている。
- 障害を持つ人材は環境さえ整えあげることで、非常に高い生産性を生み出せることから弊社の立場から見ても優秀な人材を安定的に雇用できているのは大きなメリットであると言える。また、ハローワークや就労継続支援施設とのパートナーシップにより、採用コストを抑えられることもメリットであるといえる。
- テレワーク導入することで直接的面のみならず、業務の見える化するのには間接的ではあるがメリットとして感じている。